

でんでら通信 第百九号 令和五年五月

坐禅会

五月三十日（火）十時に坐禅会を開催します。
みなさんのご参加をお待ちしております。

大型連休

四月下旬の週末から五月上旬にかけて、世間ではゴールデンウィークと呼ばれ、ちよつと浮足立っています。旅行に出かける方や観光地の様子などが新聞、テレビなどのニュースから流れてきます。

ちなみに、NHKではゴールデンウィークとは言わないそうです。大型連休という呼び方をするそうです。なぜでしょう。それは、

日本の映画界が「ゴールデンウィーク」(黄金週間)は、連休で観客の入りがよかつたため、この期間中に大作をぶつけるようになり、宣伝も兼ねて作り出したことばで、昭和27〜28年ごろから一般にも使われるようになったようです。

しかし、1970年代の「石油ショック」以降、「のんきに何日も休んではいけないのに、なにがゴールデンウィークだ」といった電話が放送局に何本もかかってくるなど抵抗感を示す人が目立ってきました。また、「外来語・カタカナ語はできるだけ避けたい」「長すぎて表記の際に困る」など、放送の制作現場の声もありました。また週休2日制の定着で前後の土曜・日曜を加えると10日ぐらいになることもあり、ウィーク(週間)も的確な表現ではなく

なってきました。このため、放送では原則として「ゴールデンウィーク」は使わず、「大型連休」を使っています。

《NHK放送文化研究所より》

この大型連休は国民の祝日に関する法律によって定められたことよって連休となっています。

◎四月二十九日、昭和の日

ご存じのとおり、昭和天皇の誕生日が元であります。昭和二十四年から昭和六十三年までは「天皇誕生日」、平成元年から平成十八年までは「みどりの日」でありました。そして平成十九年から、現行の「昭和の日」が制定されました。

祝日として制定された理由としては、激動の日々を経て、復興を遂げた昭和の時代を顧み、国の将来に思いをいたす、というものです。

先日、厚生労働省の国立社会保障・人口問題研究所が次のような推計を公表しました。

五十年後の日本は、人口が一億人を大きく割り込み870万人となるといいます。そして平均寿命は、男性は86歳に、女性は92歳に伸び、高齢者の人口は38.7%、(10人に4人)に上昇するといえます。また外国人が1割を占めるともいいます。人口が減っても、国力が活性化して人々も長寿で元気ならいいのですが、国の将来に思いをいたすと心配になります。

◎五月三日 憲法記念日

「日本国憲法の施行を記念し、国の成長を期する」ことを趣旨としています。

日本国憲法は昭和二十一年十一月三日に公布され、

翌年五月三日に施行されました。

しかしこの日の制定にも閣議内では論議が交わされたようです。昭和二十一年十月二十九日の閣議では、当初十一月一日公布、五月一日施行の案が浮上しましたが、五月一日はメーデーということから閣議で反対となり、十一月五日公布、五月五日施行の案も五月五日は節句の日であるから覚えやすいが、男子の節句の日で女子の節句ではないから男女平等の新憲法ではどうかとなり否定され、結局、十一月三日公布、五月三日施行、即ち五月三日が憲法記念日となったようです。

◎五月四日 みどりの日

平成元年の制定から平成十八年までは、昭和天皇の誕生日である四月二十九日でした。

前後が祝日である平日は、国民の休日として定められていましたが、土、日では祝日にはならず、平成十九年法律改正により祝日となりました。自然に親しむとともにその恩恵に感謝し、豊かな心をはぐくむという、理由が後から付いたような祝日です。

◎五月五日 こどもの日

祝日法では「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する」ことを趣旨としています。

子供が主役の日であることが注目されていますが、それと共に母に感謝する日と定められていたことは知られていません。

お母さんがおられる方は感謝の心を伝え、おられない方は手を合わせ、故人を偲びましょう。ちなみに法律的には父に感謝する日は定められていません。